

庭師と歩く 後楽園

特別講師 山内朋樹

庭師（草木の使代表）。美学、庭園史研究（関西大学、京都造形芸術大学、京都教育大学非常勤講師）。在学中に庭師をはじめ、研究の傍ら独立。京都を中心に関西圏で庭をつくる。おもな仕事に嵐山のカフェギャラリー、白浜の別荘、伏見の割烹料理店の庭など。また論考には、「火の風景——庭、あるいは遷移の傍らへ逸れる」（『現代思想』2013年10月号）、「動いている庭」から「野原」へ——ジル・クレマンにおける風景と環境」（『立命館言語文化研究』2013年10月号）などがある。

岡山大学生・大学院生・留学生を対象に、後楽園での特別フィールドワークを開催します。講師は、庭師として主に関西圏で活動している山内朋樹氏。庭づくりの目線から、名所観光や歴史散策とはまた違った後楽園の姿を探ってみたいと思います。

2014年11月24日（月・祝）
10:00 — 12:30 岡山後楽園
事前申込制（定員20名）、別途入園料必要

文学部教務窓口にて、所定の参加申込用紙に記入のうえ、受付BOXに入れてください。11月20日(木) 17:15締切。当日は5分前までに正門に集合です。問い合わせは、芸術学研究室教員の岡本源太まで。

岡山大学文学部特別フィールドワーク

庭のかたちが生まれるとき